

上浅津集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成30年 3月 6日
修正日：平成 年 月 日

市町村名	湯梨浜町	組織名	上浅津営農組合	
1 地区の範囲 湯梨浜町 上浅津地区				
2 地区の概要				
水田面積	51.6ha	主な水田栽培作物	水稲、大豆、飼料用米 農家数 148戸	
認定農業者数	1経営体	人・農地プランの中心となる経営体数	2経営体	
3 組織化及び集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標				
【項目】		【現状】		【目標】30年度
組織の概要	設立時期 (規約等の制定日)	平成16年 4月 1日		平成16年 4月 1日
	組織形態 (該当形態に○を記入)	・未組織 ・共同利用型 ・作業受託型 ・協業経営型		・共同利用型・ 作業受託型 ・ 協業経営型
	構成農家数	70戸		70戸
農地の集積	集積面積 A	25.0ha		26.1ha
	対象水田面積 B	48.6ha		48.6ha
	集積率 A/B	51.4%		53.73%
世代交代への取組				新規オペレータの育成 2名
新規就農者の活動参画				

注1) 目標は、事業実施最終年度の翌年度とする。
 2) 設立時期の目標欄は、ビジョン作成時に組織が設立されていないときのみ記載すること。
 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。
 4) 集積率の目標は、50%超が採択要件。
 5) 集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。
 6) 集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増、世代交代への取組、新規就農者の活動参画のいずれかでも可。ただし、世代交代への取組又は新規就農者の活動参画の欄に現状及び目標を記載すること。

I 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1 担い手の明確化及び水田利用集積目標	<p>近年農村で問題となっている農業従事者の高齢化、後継者不足等は、湯梨浜町においても言えることであり、本上浅津地区においても耕作放棄地や所有者がわからない農地も散見する現状となっている。</p> <p>以前とは違い、世代交代の際に家の農地を継ぎ農業をするという者も少なくなり、個人の農業機械の更新に際して農業を辞め、後継者もいないためたちまち多くの耕作放棄地が発生する、という可能性が危惧される。</p> <p>こうしたことが背景にあり、本地区では集落で農業を営む人間が声を上げ、集落の農地を守るため一致団結し、平成16年に上浅津営農組合（以下、「組合」という。）を組織した。本組合については他地区の組合と同様に、町から地区の生産調整を引き受ける担い手として位置付けられており、集落内で耕作を辞める農地を積極的に引き受けて耕作を行っている。</p> <p>水田利用集積は、現在、大豆約19.76ha、飼料用米約5.28haを経営（水田利用集積計25.04ha）しており、今後は26.1haを目標にする。</p>
2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策	<p>町から配分された生産調整面積の達成を目標としているが、個人経営のみではその達成は難しいことから、地域として達成できるようにしている。</p> <p>具体的には本組合による大豆ブロックローテーションにより集団転作に取り組んでいる。</p>
3 農業用機械施設の効率利用	<p>本組合は集落の農地を集落で維持する、という考えのもと機械等は基本的に組合で整備し協業経営を行っている。（耕耘から収穫までは組合所有の機械＋組合員から貸借、乾燥・調整についてはJAの共同乾燥施設を利用）。今後も、組合員個人での購入はできる限り回避し、組合で共同購入して一元化することで、作業効率化と規模の適正化を図っていく。これまでトラクターは組合で所有する1台を使用していたが、増えた面積に対応するため新たに組合で1台整備し、2台体制で適期作業につなげていく。</p> <p>また、大豆の効率的な作付けを行うため、大豆播種機について新たに導入するトラクターに適合する規格のものを整備する。</p>
4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針	<p>本集落では、平成29年度に組織役員を改選し、組織の若返りを図った。今後は、これら新役員若手を中心に機械作業技術習得を進め、オペレーター育成を図り、安定的に運営できる体制を整えて行く。</p>
5 経営多角化の方針・具体策	<p>組合の経営発展のため、大豆、飼料用米の経営に加え、ロールベアラを活用した飼料用わら収集（一部作業受託）及び畜産業者へのわら提供を行っており、収益向上を目的に経営の多角化を図った。</p>

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円) (予定含む)	導入年月 (予定含む)	本事業による 導入機械に○
ロールベアラ		1台	1,114,000	平成27年10月	○
ジャイロレーキ		1台	369,000	平成27年10月	○
トラクター	41馬力	1台	6,001,000	平成30年3月	○
播種設備等		1式	1,536,000	平成30年3月	○